

職員健康診断における子宮がん・乳がん検診の実施状況

通し番号	校種	規模	子宮がん検診					乳がん検診				
			実施の有無 A:有り B:無し	検診種別 A:頸がんのみ B:体がんのみ C:両方 D:その他	検診実施方法 A:学内集団検診時に実施 B:個人対応 C:その他	対象 A:35歳以上 B:40歳以上 C:その他 D:年齢制限なし	費用負担 A:全額大学負担 B:一部大学負担 C:個人負担 D:その他	実施の有無 A:有り B:無し	検査種別 A:エコー B:マンモグラフィ C:両方 D:その他	検診実施方法 A:学内集団検診時に実施 B:個人対応 C:その他	対象 A:35歳以上 B:40歳以上 C:その他 D:年齢制限なし	費用負担 A:全額大学負担 B:一部大学負担 C:個人負担 D:その他
1	国	E	A	A	A	C(20歳以上)	A	A	D:エコー+マンモ+視触診	A	・マンモ:35歳以上 ・エコー:30歳以上35歳未満 専門医による視触診:D マンモ:40歳以上2年に1回(誕生年の西暦が偶数年・奇数年により決める)	A
2	国	E	A	A	A	D	A	A	D(マンモは一方のみ+視触診or視触診のみ)	A		A
3	国	E	A	A	A	D	A	A	D:誕生年の西暦が偶数年・奇数年によりマンモグラフィが視・触診かが決まる(本年度マンモグラフィを受けた人は次年度希望した場合は視・触診となる)	A	D	A
4	国	D	A	C	B	A	A	A	B	B	B	B:申請により、乳がん検診費用の個人負担金を大学が負担する(立替払請求書提出)受検時間は職務専念義務の免除適用 ・・・Aとして集計
				A								A
5	国	D	A	A	A	C(20歳以上)	A	A	B:2方向・X線 A	A	B C:希望者は20歳以上から受診可	A
6	国	D	A	A	B	C(30歳以上)	A	A	B	B	A	A
7	国	D	A	A	A	D	A	B				
8	国	D	B					B				
9	公	B	A	D:検診先による	B	C:指定年齢総合健診対象者35,40,45,50歳	A	A	B	B	C:指定年齢総合健診対象者35,40,45,50歳	A
10	私	D	B					B				
11	私	D	B					B				
12	私	D	A	C	B	A	B:申請により、乳がん・子宮がん検診費用として3,000円を上限に補助	A	D:いずれでも可	B	A	B:申請により、乳がん・子宮がん検診費用として3,000円を上限に補助
13	私	C	A	A	B	C(50歳以上)	A	A	D:視触診のみ	B	C:50歳以上	A
14	私	C	B					A	A:34歳まで B:35歳以上	A	D	A
15	私	C	B					B				
16	私	C	B					B				
17	私	C	B					B				
18	私	C	B					B				
19	私	B	A	A	C:集団検診時に申込みを受付、期間限定で検診委託施設にて個別受診	D	A	A	B	A	D	A
20	私	B	A	A	A	D	A	A	B	A	B	A
21	私	B	A	A	C:自己採取し健診当日に持参	D	C:4500円(オプション検査として案内をしている)	B				
22	私	B	B					A	B	A	D	C
23	私	B	B					A	D:マンモグラフィ触診両方	C:大学と契約している病院	C:35歳以上正規職員	A
24	私	B	B					B				
25	私	B	B					B				
26	私	B	B					B				
27	私	B	B					B				
28	高専	A	A	D:いずれでも可	B	D	B:申請により、乳がん・子宮がん検診費用として20,000円を上限に補助(うち、一人当たり10,000円を上限として機構本部より各高専へ予算措置あり。)	A	B	B	D	B:申請により、乳がん・子宮がん検診費用として20,000円を上限に補助(うち、一人当たり10,000円を上限として機構本部より各高専へ予算措置あり。)

※ 規模	学生数
A	1,000人以下
B	1,001~3,000人
C	3,001~5,000人
D	5,001~10,000人
E	10,001人以上